

開館時間：10時～18時
(中央館は火～金：20時)
休館日：毎週月曜日、
年末年始、その他臨時休館
(分館は国民の祝日・休日)

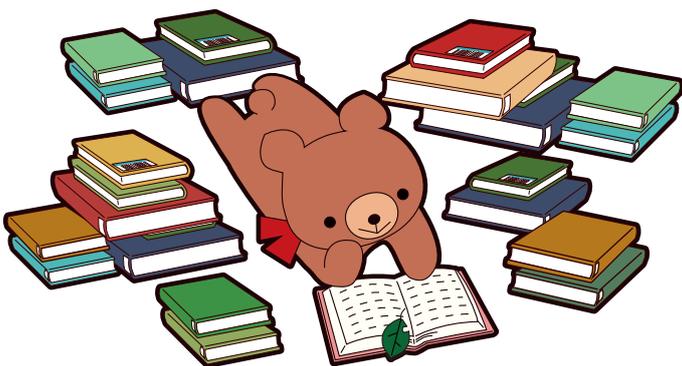
としょかんだより

(中央館) TEL 22-3225 FAX 22-7118
(夜久野分館) TEL・FAX 37-1066

(三和分館) TEL 58-4715 FAX 58-4716
(大江分館) TEL・FAX 56-1017

ほん むし むし “本の虫”ってどんな虫？

どくしょ す ひと ほん むし い かみ
読書が好きな人を「本の虫」と言うことがありますね。これは、紙について
いる糊をえさにして本を食べる虫「紙魚」に例えているといわれています。
えいご おな ほんず ひと しみ あらわ ブックワーム ほん むし
英語にも同じように、本好きの人、紙魚を表す“bookworm” (本の虫)
という言葉があります。国が違っても同じように言い表すのが不思議ですね。



さんこう ほん 参考にした本

『ことば絵事典 3』江川 清 / 監修, 偕成社

『講談社ハウディ英和・和英辞典 (第4版)』

吉田 正俊, 中村 義勝 / 編, 講談社

『日本国語大辞典 第12巻 (第2版)』小学館国語辞典

編集部, 小学館 / 編集, 小学館

『岩波国語辞典 (第6版)』西尾 実, 岩淵 悦太郎,

水谷 静夫 / 編, 岩波書店

としょかん やす 図書館のお休みについて

としょかん ていきゅうび げつようび しゅくじつ ぶんかん きゅうかん
図書館の定休日は月曜日です。祝日は分館のみ休館。

ねんまつねんし りんじきゅうかん としょかん し
年末年始や臨時休館については図書館ホームページのカレンダーでお知らせしています。

としょかん
図書館ホームページ <https://www.lics-saas.nexs-service.jp/city-fukuchiyama/>



としょかん 図書館 まめちしき

ぞうしょてんけん 「蔵書点検」ってなに？

ぞうしょてんけん としょかん ぜんぶ ほん てんけん ばしょ お
蔵書点検とは、図書館にある全部の本を点検することです。きまった場所において
あるか、機械のデータが正しいか、無くなっている本はないか、破れたり壊れたりし
ていないかを調べます。年に1回、図書館をお休みにして点検をしています。





こんかい
今回のテーマ

だれかに プレゼント!

だれかのことをおもって、てがみか
手紙を書いたり
プレゼントをつくらったり……こころ
心があつたか
くなりワクワクする本をほんしょうかい
紹介します。



『ホカリさんとふゆのおくりもの』

(はせがわ さとみ/作, かわかみ たかこ/絵
ぶんけいどう
文溪堂)

ホカリさんはちい
小さな
まちゆうびんや
町の郵便屋さん。今日
あかじてんしゃ
も赤い自転車でぐるっ
とまわって、まち
町の人
みなにてがみ
手紙を届けます。
あるひちい
ある日、小さなねずみ
このもりいぐち
の子に、森の入り口のあかりまでてがみ
手紙の
はいたつた
配達を頼まれて……



ほのぼのあたたかい3つのちい
小さなもの
がたり。

『サンタクロースは

そらとたくはいびん
空飛ぶ宅配便ではありません』

いちかわのぶこさくたかはしかずええ
(市川 宣子/作, 高橋 和枝/絵 ポプラ社)

ゆくえふめい
行方不明になった
サンタクロースのかわ
りをする事になった
しょうがくねんせいこうすさん
小学4年生の黒須三
太。プレゼントはクリ
スマス本部が用意して
くれて、それを届けるだけなんだけれど。
サンタクロースが届けてくれるおくりも
のって、ほんとうにプレゼントだけ?



『子どもが作れるプレゼント菓子』

しばたしよてんへんしばたしよてん
(柴田書店/編 柴田書店)

あま〜いお菓子のプ
レゼントなら、もらった
ひとつくひとしあわ
人も作った人も幸せな
きばん
気分になれそう。

この本には思わず笑
がお
顔になるようなクッキー
やパイ、ケーキなどの作り方やラッピング
のアイデアがたくさん載っています。ぜひ
しあわ
幸せな気分で作ってくださいね!



じ どう ほん
児童おすすめの本



『うさぎのモニカのケーキ屋さん』



こでまり (小手鞠 るい/さく, たかす かずみ/え 講談社)

もり なか 森の中にある「モニカのケーキ屋さん」、お店のテーブルはお客様までいっぱい。でも、いつも奥のテーブルに座って静かにほほえんでいる、くまのダニエルさんが来ていません。今日はどうしたのかなあ。

『カンタの訓練 盲導犬への道』



くさの (草野 あきこ/作, かけひ さとこ/絵 岩崎書店)

くんれん 訓練センターにやってきたラブラドルレトリバー、カンタの盲導犬への訓練が始まる。盲導犬らしさを探すカンタと指導員との悪戦苦闘を描く。カンタの視点・心の声を通してカンタの成長を見守る物語。晴れて盲導犬に合格する日はくるのか。頑張れカンタ！

『再会の日』



なかやま せいこ (中山 聖子/作 岩崎書店)

しょうがく 小学6年生の陽架には、離れて暮らす妹がいる。離ればなれになってから会えずにいたが、ある日、妹の通う塾を知った陽架は、3年半ぶりに妹に会いに行くこと決めた。お姉ちゃんってわかるかな。不安の中、駅に降りた。

『空飛ぶクルマ大研究』



なかの まさる (中野 冠/監修 P H P 研究所)

そらと 空飛ぶクルマ！まるでSF映画に出てくる乗り物のようですね。空飛ぶクルマは「100年に一度の移動革命」と言われていて、いよいよ実現しようとしています。クルマが主翼を出して空を飛んでいる様子など、写真や図解を使って楽しく解説しています。

ティーンズ ^{ほん} おすすめの本



『いつか、あの博物館で。』 ^{はくぶつかん} ^{ぶきみ たに} ^{アンドロイドと不気味の谷}



^{あさひな} ^{あすか} / ^{ちよ} ^{とうきょうしょせき} ^著 ^{東京書籍}

ロボット博物館への校外学習で同じ班になった、悠真、湊、咲希、陽菜。性格も家庭環境も異なる4人ですが、関わり合う中で自分とは違う考え方や選択を知るようになります。家庭や学校、進路に悩みながらも前に進むと中学生の日常が描かれた1冊です。

『全校生徒ラジオ』 ^{ぜんこうせいと}



^{ありさわ} ^{かえ} ^{ちよ} ^{こうだんしゃ} ^著 ^{講談社}

「この4人で、今日からポッドキャストやります！」全校生徒4人の女子中学生が始めたラジオ番組『全校生徒ラジオ』。ただしゃべるだけだったが、少しずつリスナーも増えて悩み相談も届くように。

夏休みに始めたラジオ番組が巻き起こす小さな奇跡の青春小説。

『アドニスの声が聞こえる』 ^{こえ} ^き



^{フィル・アール} / ^{さく} ^{すぎた} ^{ななえ} ^{やく} ^{しょうがくかん} ^作 ^{杉田} ^{七重} / ^訳 ^{小学館}

第二次世界大戦中のイギリス・ロンドン。ある事情で知人女性に預けられ、動物園で働くことになった孤独な少年ジョーゼフは、家族を失ったゴリラのアドニスと出会う。彼らは少しずつ心を通わせていくが、動物園にも戦火が近づいてきて……

『明日話したくなる個人情報のはなし』 ^{あしたはな} ^{こじんじょうほう}



^{つた} ^{だいすけ} ^{せきぐち} ^{けいた} ^{さいとう} ^{りお} ^{おかの} ^{たかあき} ^{へんちよ} ^{しみずしゅいん} ^{編著} ^{清水書院}

SNSやオンラインゲームをしている人は多いですが、そこで使われている個人の情報は守られているのでしょうか。「個人情報」とは何か？情報の流出を防ぐには？危険な犯罪から個人を守る方法など、弁護士がわかりやすく解説しています。